



写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。



～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

理念
愛と希望

基本方針

- 一、私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
- 一、私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
- 一、私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
- 一、私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝する心で、仕事に取り組みます。

なにしこらむ

漢字では「秋桜」と書くコスモス。メキシコからの外来植物ですが、もうすっかり日本人の心になじんでいる感があります。花言葉は、全般で「乙女の純真」、「乙女の真心」など、白いコスモスでは、「乙女の純潔」、赤いコスモスでは、「調和」、「乙女の愛情」などがあります。この時期日本中のあらゆるところで見られますね。☺(編)

撮影者：新井利雄さん



看護の日と
ナイチンゲール

看護部長

源内 和子

今夏の、当院ふれあいデー(地域との交流を目的とした病院行事)にはたくさんの方々のご来場を賜り深く感謝申し上げます。

当院がふれあいデーを開催して今年は5年目になります。もともとは、5月12日の「看護の日」にちなんで開催いたしました。なぜこの日を「看護の日」に制定したかといいますと、日本看護協会は、以下のようについています“21世紀の少子高齢社会を支えていくためには、国民一人一人が看護の心、ケアの心、助け合いの心を深く理解することが必要との考え方から、近代看護の創始者であるフローレンス・ナイチンゲール(以下 ナイチンゲール)の誕生日の5月12日を「看護の日」、看護の日を含む日曜日から土曜日までの7日間を「看護週間」と1991(平成3)年、厚生省(当時)が制定しました。”そして厚生省と日本看護協会は様々な行事を開催し、国民が参加できる記念行事を行っております。当院も地域の皆様方に病院への親近感を持っていただき、地域との関係をより一層密にすると同時に、病院内における看護の現状、医療の現状を少しでも知っていただくとの考えのもと、病院行事の一つとして行っております。

今年度は、皆様ご承知のAEDの体験や、災害時の活動の状況、地域住民への助け合いの体制などもご紹介

させていただきました。また生活習慣病予防の体力測定や、健康チェックも毎年実施しております。

さて、ここで少しナイチンゲールについて述べたいと思います。

皆様は、クリミア戦争をご存じかと思います。この戦場に赴き負傷者の看病に力を注いだのがナイチンゲールです。ここで彼女の負傷者を看病する姿勢は、現在のわれわれの看護の基本とも思われる行為そのものでした。それは、病室の換気を調整すること、適切な食事を与えること、病院内を衛生に保つこと、患者の夜回りを欠かさなかったことなど、献身的な働きぶりは「ランプの貴婦人」とも呼ばれ、のちに看護師を「白衣の天使」と呼ばれる由縁はここにありそうです。しかしナイチンゲール自身はこう呼ばれるのを好まず、本人の言葉として「天使とは、美しい花をまき散らすものでなく、苦悩する者のために戦うものである」が知られています。彼女が残した「看護覚え書」には「看護とは、患者の生命力の消耗を最小限にするように整えること」「看護がなすべきこと、それは自然が患者に働きかけるに最も良い状態に患者をおくことである。」と記されています。私たち看護師は、安全な医療・看護を提供する者として、また看護の専門家として、このナイチンゲールの残した看護の基本を再認識したいと思っております。皆様に安心して希望を持って医療を受けていただくために。

この4月より看護部長を拝命いたしました。ナイチンゲールの精神を常に心に持ち続け、患者さんの全てをケアできるような、そんな看護を目指して邁進しております。お気づきの点がございましたら、お気軽にお声掛けください。

平成20年11月4日から

院外処方へ変更いたします

院外処方についてのご案内



「院外処方」は、薬害（相互作用・副作用）の防止、薬の過剰投与の抑制、より良質な医療の提供を目指し、厚生労働省が押し進めている施策です。

これまで当院ではお薬を院内の薬局で調剤し、患者さんにお渡ししておりましたが、平成20年11月4日より厚生労働省の指導に従い、院外処方へ切り替えることと致しました。

何卒、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

～院外処方せんのご案内 及び Q&A～

院外処方とは？

院外処方とは厚生労働省が進める医薬分業の制度に伴い行われるものです。病院内で薬を渡す代わりに院外処方せんを発行し、町の保険薬局の薬剤師が処方内容、薬の飲み合わせ等を再確認し、お薬を渡すシステムです。このシステムは世界の先進国のほとんどで実施されており、現在我が国では全国の病院、診療所で出される外来処方のうち50%以上が院外処方せんとなっています。

※保険薬局とは院外処方せんを受け付ける薬局のことです。

院外処方のメリット

保険薬局では患者さん個々の薬歴簿（薬の服用の記録）を作成し、アレルギーや副作用、今回出された薬と他の病院で出た薬、市販薬・健康食品などの飲みあわせのチェックを行い、患者さんの安全を守っています。

また、お薬の説明や相談にも、じっくり時間をかけてもらえます。

病院での待ち時間も院外処方せんにより短くすることができます。

院外処方のデメリット

院外処方せんにすることで患者さんの負担する金額が高くなる場合があります。これは、お薬をより安全に服用できるように保険薬局で薬歴簿を作成したり適切なお薬の説明を行っているからです。

今までは病院でお薬をもらうことができましたが、院外の保険薬局に行かないともえなくなりません。しかし、患者さんの安全を守る為の制度である事をご理解下さい。

院外処方箋による薬局でのお薬の受け取りかた

医師の診察を受けた後に発行される院外処方せんを町の保険薬局にお持ちいただき、処方せんの内容に従って調剤されたお薬をお受け取りください。

また、お体が不自由な方、重い薬（経腸栄養剤）などをご自分で持ち運ぶことが困難な患者さんなどに対しては「配達」というサービスを行っている薬局もあります。

おわかりになるかと思っている薬局がございましたら、現在処方されているお薬やお薬の説明書を持って行き、11月から調剤してもらえるかどうかを確認されることをお勧めします。



「認定看護師」をご存知ですか？



当院 ICTチームのシンボルマークです。



病院に関わる全ての人々を感染から守る

感染管理認定看護師
細 渕 節子

「認定看護師」をご存知ですか？

「認定看護師」とは、5年以上の実務経験があり、認定看護師教育課程（6ヶ月以上）を修了し、日本看護協会の認定試験に合格した看護師を言います。現在全国に17分野4458名の認定看護師がおります。

このたび病院のバックアップをいただき「感染管理」の分野で認定を取得する事ができました。全国で769名、県内に10名いる感染管理認定看護師の1人です。

「感染管理といっても何をやる人？」と思われるかもしれませんが。世間を騒がせることの多い「院内感染」から患者さんと病院スタッフを守ることが私の仕事です。感染のリスクを最小限にし、病院に関わる全ての人々を感染から守ることを目的に病院内の全部署に対して、組織横断的に活動しています。

当院には院内感染を予防する組織として昭和62年から「院内感染対策委員会」が存在しています。感染対策委員会は、院長、看護部長、各診療科医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士、事務など各部門の代表からなり、定期的に毎月集まり、院内における感染管理について検討を行っています。また感染管理に対する特別の教育を受けた医師・薬剤師・検査技師・看護師からなるICT（インフェクション・コントロールチーム 感染対策チーム）を組織し、院内ラウンドを行い、各々の立場・視点から問題点を抽出し、注意を促しています。

感染管理認定看護師である私の具体的な活動としては、院内感染サーベイランス（院内感染のデータ収集と対策）、感染管理教育、コンサルテーション（相談業務）、適切な感染対策の実施の確認、感染事例の調査などを行っています。

まだ感染管理認定看護師として歩き始めたばかりですが、済生会病院にきていただいた患者さんに、

感染という不利益を与えず、提供する医療に満足していただけるよう努めてまいりたいと思っております。医療安全対策室に所属しておりますので、感染管理についてご意見がございましたらお聞かせ下さい。



ラウンド風景



ICTメンバー

かんわケアチーム



当院かんわケアチームのシンボルマークです。

診療科や職種をこえた新しい窓口となり 患者さんやご家族を緩和ケアします

外科部長

平山 功

当院に「かんわケアチーム」ができました。がんなどの悪性腫瘍による症状・療養に関する心配や不安をお持ちの患者さんやご家族に対して、それらの緩和が図れるよう支援する専門チームです。

医療の進歩に伴い、がんの治療も最近では大きく変化し、がんは決して「不治の病」ではなく「慢性病」と考える時代になってきました。高い効果を持つ抗がん剤や新しい手術法がよりよい治療成績を上げています。しかし、病気自体による体の症状はもとより、心配・不安といった心の問題や、仕事・家庭などに関する社会的な悩みは相変わらず患者さんやご家族に大きな負担となっており、これが他の慢性病とがんとの大きな違いです。「その人らしさ」をさまたげる全てが、緩和ケアの対象となります。よって緩和ケアは病気が進行した時期だけのものではなく、治療と一緒に行うことで、がんとうまく付き合っていくことができるようにします。

当チームでは、診療科や職種をこえた新しい窓口として、患者さんやご家族の幅広い内容のご相談に対応します。そのため、チームは多職種のメンバーで構成されています。現在は、看護師3名（緩和ケア認定看護師1名を含む）、薬剤師、医療相談員（社会福祉士）、麻酔科医師（日本麻酔科学会指導医）、内科医師（笑い療法士）、外科医師（がん治療認定医）です。また、各病棟には緩和ケア担当の看護師をおき、チームと各病棟が常に連絡をとりながら活動しています（全員がシンボルマークのバッジをつけています）。

また、職員を対象とした勉強会の開催などを通して、院内に最新の緩和ケアの知識を広める活動も行っています。

当チームは日本緩和医療学会に登録をしており、本年4月から主に入院されている方を対象としてご相談を受け付けています。院内には当チームを

紹介するポスターも用意いたしました。お近くのスタッフにお気軽にお問い合わせください。



胸にシンボルマークをつけた、かんわケアチームメンバー

INFORMATION

院内コンサート

日時：2008年10月25日（土）15時～

場所：1階フロア

※バイオリニストの大谷康子さんとピアニストの小山さゆりさんによる、恒例の演奏会です。多くの皆様の参加をお待ちしております。

笑い療法士講演会

日時：2008年11月29日（土）14時～

場所：3階会議室

※『みんなで笑って元気になろう』をテーマに当院の「笑い療法士」河合部長（検診センター長）が講演します。今話題の笑い療法士とは？ぜひご参加ください。



地域を
つなぐ

ハートtoハート リレー

◆地域の皆様をリレーでご紹介します。



前月号から始まったコーナーで、今回は東地区体育協会会長の**只木満延**会長さん宅を訪問。お話をうかがいました。

(編集部) 体育協会会長とはどのようなお仕事でしょうか？

(只木会長) スポーツの企画と運営を行い、地域のスポーツの発展と振興を図っています。私自身は、前橋市体育指導委員会に所属する体育指導員でもあります。

(編集部) 東地区で行われる体育関連の行事はどのようなものがありますか？

(只木会長) 毎年、運動会、ソフトボール大会、グランドゴルフ、女子バレーボール大会、新年には卓球大会などを開催しています。また、東史跡研究会とタイアップし、地区内の旧跡等を巡る「あるけあるけ大会」なども行っています。

スポーツ以外では、地元消防署員によるAED（自動体外式除細動器）の講習会を計画しております。

(編集部) 会長さんご自身は日常運動をされていますか？

(只木会長) 妻と二人で週1回前橋市の水泳教室に通っています。

また、月1回ゴルフの愛好会にも参加しています。

日ごろの健康管理では、毎日出勤前に30分散歩をしています。

(編集部) 済生会前橋病院について会長さんはどんなふうにお感じになっていますか？

(只木会長) この地域で救急患者に対応出来る唯一大きな病院で、何かあったら受け入れてくれる、3万人の東地区住民にとって、心強い味方であると感じています。

(編集部) 会長さん自身も利用されますか？

(只木会長) 昭和55年に胃の治療でお世話になりました。

入院中には、大変親切にいただいたことを覚えています。

(編集部) 病院にご要望などありますか？

(只木会長) 対応がいいし、案内がよい。とてもいい病院だと思います。

ただ、済生会病院も産婦人科がなくなり、地域にとって他を探すのが大変かと思います。また、少子高齢化が進んで、あずま荘（当院併設の老人保健施設）もいっばいでなかなか利用できないので地域のためになんとか利用しやすくなればと思っています。

『ふれあいデー』（地域との交流を目的とした病院行事）はとても良い行事だと思います。病院の職員と交流が持てるし、以前高いと感じていた敷居が低くなりました。地域のために今後もぜひ続けていてもらいたい。

(編集部) 今後の会長としての抱負をお聞かせください。

(只木会長) 今、東地区で地域おこしをして特色ある地域にしようと計画し、委員に委嘱をされ、いろいろな場で討議をしています。その意見を集約し特色をもった地域づくりを目指しています。

あとがき：

只木会長さんは、高校でバレーボールを経験し、地域の男子チームやクラブチームで活躍されました。ママさんバレーのコーチも務められたとのこと。

45歳で体育指導員になり、今年で20年、地域のスポーツ振興に尽力されています。今年65歳。心身を鍛えることが自分の原点とおっしゃる会長さん、これからも地域の健康増進のためご活躍ください。

外来医師診療表

* 午後の一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です(診察開始は9時です)。
 * 午後の特殊外来は完全予約制です。
 * 休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。
 * セカンドオピニオン外来のお問い合わせ・お申し込みは地域連携室 (027-252-1751) までご連絡ください。
 * 総合外来の担当医師は変更することがあります。

午前の一一般外来

	内科			循環器内科		外科	小児科	整形外科	眼科	泌尿器科
	総合外来(初診) 9:00~10:30 10:30~12:00			一般	一般 睡眠障害外来					
月	畑 中	福田	佐倉【血】・菅【腎】	池田		西田 尾嶋	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	後藤 長谷川	榎 石原(美)	鈴木 【群大教授】
火	宮 脇	交替制	樋口【消】・河合【腎】 神田【消】	福田 広井		細内 鈴木(茂)	大島【一般】	中島 澁澤	岸【群大教授】 石原(美)	
水	中里見	中里見 池田	樋口【消】・宮脇【血】 吉永【消】	福田 宮崎		西田 平山	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	中島 田鹿	石原(美)	
木	河合 佐倉	初見	家崎【消】・針谷【腎】 高田【血】・石塚【呼】	福田 池田		細内 持田	大島【一般】	長谷川・澁澤 白倉【群大教授】 リハビリ【第1,3】	石原(美)	
金	吉永	家崎	宮脇【血】・矢田【消】	池田【第1,2,3】 福田【第4,5】	福田 【第1,2,3】	西田 尾嶋	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	後藤 田鹿	石原(美)	
土	交替制	交替制	星野【血】・交替制 内分泌【第1,3】荻原 呼吸器【第1,3,5】岡山	福田 池田		交替制	第1:下山【循】 第3:鈴木【尊】【循】 第5:大島【一般】	第1:中島・長谷川 第3:後藤・田鹿 第5:後藤・長谷川	群大	

午後の特特殊外来

	内科・循環器内科・心臓血管外科	小児科		
月	心臓血管外科外来 内分泌外来	石原(茂)・石山 荻原	喘息・アレルギー・慢性疾患 循環器	大島 鈴木(尊)
火	血液外来	宮脇・佐倉・高田 初見・星野	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
水	心臓血管外科外来 ペースメーカー外来 内分泌外来 呼吸器外来	石原(茂)・石山 池田【第1,3,5】・宮崎【第2,4】 青木 牧元	循環器	鈴木(尊)
木	肝臓外来 内分泌外来	高木【第1,2,4】・矢田・神田 荻原	乳児健診(第1,3) 予防接種	大島 大島
金	腎臓外来 呼吸器外来	河合・菅 岡山【第2,4】	喘息・アレルギー・慢性疾患 循環器	大島 鈴木(尊)

お問い合わせ

- 代表番号** ☎027-252-6011
- 患者さんへ**
 - さわやか検診のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011 内線 1101
 - 人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959 (直通)
- 医療機関様**
 - 初診(診察・検査・入院等)のご紹介
地域連携室 ☎027-252-1751 (直通)
 - CT・MRIのご予約
放射線科 ☎027-252-6011 内線 1502
- 介護関連**
 - 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
前橋市在宅介護支援センターあずま荘
 - 介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘
☎027-255-1511
- 病棟直通**
 - 循環器内科・心臓血管外科病棟
(循環器疾患専用) ☎027-252-1759

交通のご案内



上信バス時刻表案内
 (済生会前橋病院発着予定時刻表)

行先	中央	前橋駅行	前橋駅行	高崎駅行
7	×06	46	×05	37
8	26			07 46
9	03	43		26
10	23			06 46
11	43	03		26
12	33			16
13		23		06
14		13		46 56
15	53	03		36
16		33		16
17	54	13		36
18	33			16 56
19		13 48		33
20	×29			×11 56

×印は日祝日は運休